

# 焼岳安全施設に関する勉強会について

## 1. 趣旨

焼岳は、緩やかな山体膨張が続いており、数年おきに地震活動が見られるなど、中長期的に火山活動が高まってきている可能性がある。また、今年度は、令和4年5月に火山性地震の発生により、焼岳の噴火警戒レベルが2に引き上げられるなど、安全対策の検討が求められている。

現在、焼岳では、焼岳小屋によるヘルメットの貸し出しなどの対策を行っているものの、シェルターなどの退避施設は設置されていない状況となっている。そこで、施設を作るための平地が少ないなどの焼岳の特性もある中で、火山防災協議会での災害対応の検討を行うため、退避壕など安全施設の在り方について関係者の意見を聞くための勉強会を設置したい。

## 2. 勉強会の方法

毎回テーマを設定し、学識経験者、地元関係者、事務局会議構成員などの中から、そのテーマに必要な関係者を集めて年数回の意見交換を実施する。

開催方法は、会議の構成員に応じてZoomを活用するなど、負担の小さいようにする。

### <開催例>

- ・焼岳で想定される火山現象について
- ・焼岳の安全施設の必要性について
- ・他の火山の安全施設の設置事例について
- ・安全施設設置の際の許認可手続について
- ・噴火時の防災対応について